

連携自治体紹介兼体験プログラムシート

自治体名	岩手県住田町（すみたちょう）	
自治体の概要 主な特色 PR ポイント	岩手県南東部の山間に位置し、太平洋沿岸部の大船渡市、陸前高田市とともに「気仙地域」と呼ばれます。北上高地の山々に四方を囲まれ、その合間を流れる気仙川とその支流沿いに集落や耕作地が営まれています。内陸と沿岸をつなぐ交通の要衝で、かつては宿場町として栄え、現在も当時の町割りが残ります。奥州藤原氏の時代から産金地でもありました。 東西約 31 km、南北約 19 km、面積は 334.8 km²で、その 90%が森林です。豊富な森林資源を活用した林業や少ない耕地を集約させ、複合経営による農業、豊かな自然環境下で育てる畜産（養豚・養鶏）が主要産業です。特に林業は、「森林・林業日本一のまちづくり」を目指し、基幹産業として位置付けています。役場庁舎等の公共施設には町産材を多く利用するとともに、木質バイオマスの活用や J-クレジットの発行など、脱炭素社会に向けて積極的に取り組んでいます。 人口は 4,671 人、世帯数は 2,066 世帯（令和 7 年 1 月現在）です。	 
アクセス方法	東北新幹線：東京駅－水沢江刺駅（片道約 160 分、往復料金：約 28,000 円） レンタカー：水沢江刺駅－町中心部（片道約 50 分、2 日分料金：約 20,000 円）	
主な地域課題	・住田町に合併した昭和 30 年(1955 年)の 13,121 人をピークに、人口は一貫して減少しています。 ・年少人口（0～14 歳）、生産年齢人口（15～64 歳）は年々減少し、老年人口（65 歳以上）は平成 17 年(2015 年)まで増加し以後減少しています。 ・年少人口、生産年齢人口の割合は年々減少し、老年人口の割合（高齢化率）は増加傾向にあります。 ・農家数、林家数、商工業関係の事業所、従業者数も減少傾向です。 ・関係人口の増加、都市部からの若年層の移住や企業等の参入（サテライトオフィス開設）などに取り組んでいる状況です。 ・医療機関、商業施設の少なさ、交通機関の不便さも弱みとなっています。	
受入時期	8 月下旬～12 月中旬	

連携自治体紹介兼体験プログラムシート

ワークショップ プログラム内容

右記のプログラムから、泊数に応じてご希望の内容を組み合わせて実施させていただきます。

●住田の林業を体験

みなとモデル二酸化炭素固定認証制度の協定木材である住田町の木材。それらを生み出す林業や森づくりについて、木造公共施設や工場の見学、事業者との意見交換、簡単な作業等を体験します。（所要時間 360 分）※チェーンソー体験、木工体験等も別途調整できます（有料）。



●森林を育む住田の自然を体験

各種、森林を支える豊かな自然を体験します。

・種山ヶ原散策

宮澤賢治が愛した種山ヶ原（標高 870m）をガイドと共に散策します。（所要時間 120～240 分、ガイド料 8,000 円～）



・滝観洞探検

気仙川の源流にある鍾乳洞を探検します。通常とは異なるルートを歩く冒険コース（ガイド付き）もあります。（通常コース 1,100 円、冒険コース 3,000 円、探検コース 12,000 円）

・気仙川砂金採り体験

気仙川に入り砂金を見つけます（天然の砂金のため、必ず採れるとは限りません）。（所要時間 90～120 分、ガイド料 8,000 円～）※産金文化のガイドも可能です。

●その他

・町内事業者（観光、アパレル、物産等）とのビジネスマッチング

人手不足、企業や商品の PR 不足、商品開発等の課題を抱える事業者を紹介します。

・震災学習

イコウェルすみた展示棟にて、東日本大震災時、住田町が行った後方支援やコミュニティ支援の様子を学びます。（所要時間 60～90 分、ガイド料 3,000 円～）

・KUBB（クッブ）

木を使ったスウェーデン生まれのウッディースポーツで、チームビルディングや仕事の合間の息抜きに最適です。町産材で作った道具で遊びます。

・蕎麦打ち体験

地元で生産した蕎麦粉を使い、蕎麦打ちを体験できます。（別途料金）

【宿泊】

ホテル、旅館、民泊、ゲストハウスがあり、1泊（朝食付）で 10,000 円/人程度です。

【ワーキングスペース】

イコウェルすみた、まち家世田米駅があり、共用スペースは無料です。（イ

連携自治体紹介兼体験プログラムシート

	コウエルすみたには個室（有料）があります） 上記以外の体験プログラムや町民や自治体職員等との交流会もご要望に応じてコーディネートすることができます。 ※上記所要時間、料金（税込）は一例で、ご要望や実際の参加人数等に応じます。
主な対象事業者	業種問わず
受入上限数	10 人程度
未就学児の子ども受入	不可
事業者に期待すること	・協定木材の利用促進、町内事業者の課題解決やビジネスマッチング、ワークショップで体験した町の特産品や観光地の PR に協力していただきたいです。 ・ワークショップ参加後も町の関係人口として交流、つながりを維持していただきたいです。 ・町で示した課題以外にも、地域課題を発見し、解決に向けて協働、共創してほしいです。その取り組みの中で町内でのサテライトオフィスの開設も検討していただきたいです。
留意事項	・プログラムの体験費用とは別に、コーディネート料（55,000 円～）が必要です。 ・町内での移動はレンタカーをご利用ください。 ・移動中や体験プログラム参加中のケガ等に対応するため、旅行保険等の加入を推奨します。 ・プログラム全体の日程は、次ページのモデル日程（2泊3日）を参照ください。

連携自治体紹介兼体験プログラムシート

参考図：モデル日程（２泊３日）

	Day1		Day2		Day3	
8時	移動	東京駅→水沢江刺駅 (新幹線)	業務/体験	通常業務 or ご希望の体験プログラム	業務/体験	通常業務 or ご希望の体験プログラム
9時						
10時		水沢江刺駅→住田町内 (レンタカー)				
11時						
12時	昼食	住田町内	昼食	住田町内	昼食	住田町内
13時	体験	関係者と挨拶 住田町の概要説明	業務/体験	通常業務 or ご希望の体験プログラム	体験	関係者と 振り返り、意見交換
14時	業務/体験	通常業務 or ご希望の体験プログラム			移動	住田町内→水沢江刺駅 (レンタカー)
15時						
16時						
17時						
18時	移動	町内宿泊施設	移動	町内宿泊施設		
19時	夕食	※ご要望に応じて交流会	夕食	※ご要望に応じて交流会		